

みんなの 町議会

第28号

平成23年10月15日

広島県
じんせきこうげんちょう
神石高原町



とうちゃんがたべちゃうぞ！（油木小・保、合同運動会）

■全会計黒字認定（22年度決算認定）	2
■主要施策の成果は（決算審議）	4
■災害復旧費・基金積立（補正予算）	8
■クマ対策はどうする？（一般質問）	10
■おばちゃん食堂大繁盛（特集記事）	18

黒字で繰越

9月定例会

平成22年度決算を認定

9月定例会は、9月8日から、22日まで開かれました。今回の定例会(第2回)では、平成22年度一般会計ほか各特別会計、病院事業会計の決算を認定。平成23年度一般会計・特別会計補正予算(9月補正)、神

石高原町営住宅設置及び管理条例の改正など45議案、地方財政の充実・強化を求める意見書など議員発議2件の47案件を原案のとおり可決・承認しました。一般質問では、13人の議員が当面の課題をただしました。

6億1266万円(全会計)の繰越

一般会計をはじめとする各会計の歳入歳出決算の認定については、監査委員の意見書をそえて提案されました。平成22年度の予算について、適正に執行され、目的を達成できたかを主眼に慎重に審議し、本会議にて採決の結果、全員の賛成で各会計の歳入歳出決算を認定しました。

決算総額は、歳入で192億8640万円、歳出で186億2108万円となりました。平成21年度の決算と比べて歳出で24億5964万円の増加(15.2%)となっています。次年度に繰越し執行する事となった5266万円(明許繰越)を除き、6億1266万円が平成23年度会計へ繰り越され

ました。

各会計の歳入歳出決算の状況は、表のとおりです。



賛成討論する村上委員長

賛成討論

総務文教常任委員長 村上 克朗

合併以来、「三つの過剰」の解消に取り組みながらも、国県の補助・交付金の有効活用により、「3大プロジェクト事業」である井関住宅団地整備、情報通信網整備事業、三和統合小学校建設事業が完了した。また基本となる財政数値も実質公債費比率をはじめ経常収支比率など大きく改善され、本会計を黒字で翌年に繰り越したことは高く評価される。

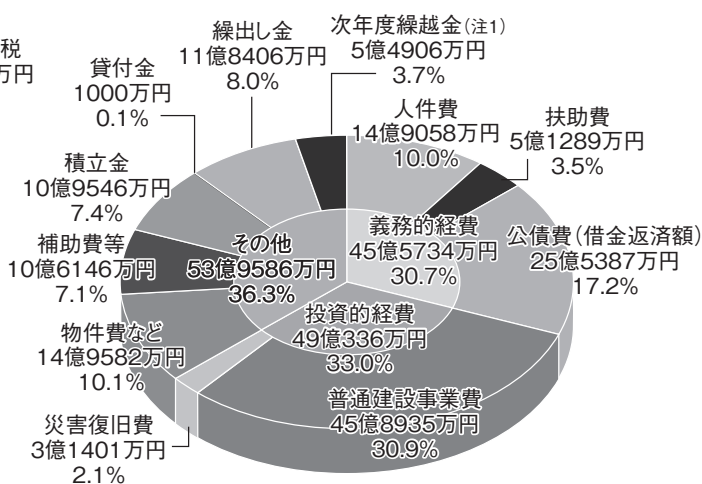
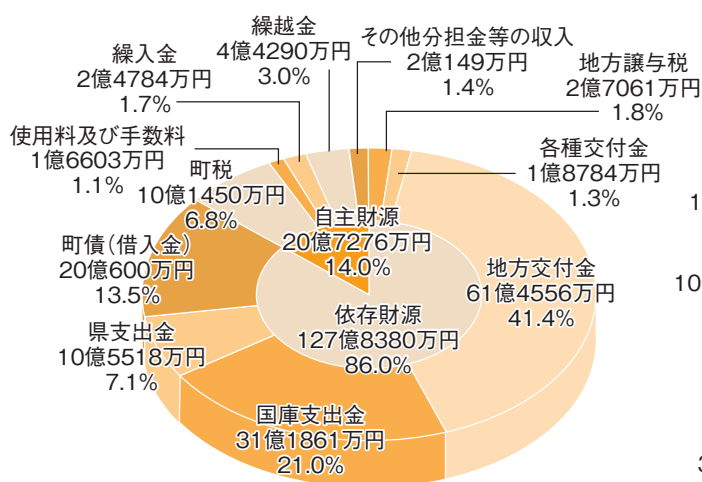
人と自然が輝く神石高原町の実現のために、特に次の事項について神石高原町議会として決算に対する意見・要望を申し上げ、議案第121号平成22年度神石高原町一般会計歳入歳出決算認定における賛成討論とする。

①「主要施設の成果に関する報告書」の中で、特に情報通信事業運用面、教育環境整備事業については、議員の意見・指摘を十分に参酌のうえ、解決に向けて、具体的・積極的な対応を行うこと。

②引き続き効果的、効率的な行財政運営を目指し改善工夫されること。

全会計を

平成22年度 一般会計 決算比較表



(注1：繰越される事業の財源5266万円を含みます。)

歳入 合計：148億5656万円

歳出 合計：143億749万円

決算総額192億8640万円

平成22年度 収支決算総括表

単位：万円(四捨五入)

会計名	歳入	歳出	明許繰越	差引残高
一般会計	148億5656	143億749	5266	4億9641
国民健康保険	12億2904	11億7875		5029
後期高齢者医療	4億2596	4億820		1776
老人保健	584	441		143
介護保険	18億762	17億8490		2272
簡易水道事業	3億8561	3億7005		1556
飲料水供給施設事業	4243	4059		184
農業集落排水事業	2億5370	2億4706		664
総合開発事業	1億4636	1億4636		
分収育林事業	3	3		
病院事業会計	1億3324	1億3324		
合計	192億8640	186億2108	5266	6億1266

平成22年度決算審査意見書

① 審査に付された各会計関係諸帳簿は、関係法令に準拠して作成されており、その係数は正確に処理されているものと認められた。審査を通じて気付いた次の事項について検討いただき、町政執行に反映されることを強く望む。

② 指定管理施設について
管理委託料の算定が不明瞭な施設がある。管理委託

③ 財政支援団体について
一部に多額の繰越金が発生している。細かに検証され、目的に沿った活動がなされるよう指導を望む。

④ 税等滞納処理について
全体では減となっているが一部は前年度より増加している滞納額の対前年度比減を目標に取り組むこと。

神石高原町監査委員
瀬岡尾征爾 志

決算審議の主な質疑

総務課

財政指標値は悪化しないか

村上議員 長期借入金金の元金利子の償還で22年度は三和小・CATVなどで起債の借入額19億5570万円増加している。今後予測される統合中学校、神石小学校建設の起債増で財政指標値は悪化しないか。

前原課長 来年以降は大規模臨時的起債はない。

村上議員 統合中学校・神石小学校・バイオマス熱利用及び小水力発電などは長期総合計画に載っているのか。

前原課長 起債部分が10億円で義務教育やその他補助金を使用した事業費は15億円以上になると思う。

木野山議員 6会計の単年度収支が赤字となったが、その対策は。

前原課長 本町はどの会計も累積赤字となっていない。より一層状況を注視し財政運営に当る。

佐伯議員 お出かけタクシーから、ふれあい号になって2年が経過し、その効果は。

前原課長 2年前より利用者8.1%増えている。スクールバスの活用にもなっている。

まちづくり推進課

かがやきネットの負担軽減・安定運営

木野山議員 I・R・U契約での負担割合は、できるだけ町負担の軽減を。

埴本課長 番組の充実と1年間の実績を勘案し負

担割合を考える。

小川議員 ケーブルテレビの加入率が予想していた数値より高く推移している。予定していたサービスは全て運用開始出来ているのか。

埴本課長 緊急通報システムは順次登録しており、今月末に始まる予定の自治会回覧板を除いて運用できている。

丸山議員 財務会計処理管理費が年々倍増している訳は。

埴本課長 委託料は、法律・制度の改正による。使用料は合併時の単独システムでの購入で5年毎の更新によるものである。

小林議員 ケーブルテレビは法人を含め、96%の加入だ。安定運営が可能では。

埴本課長 インターネッ

トの加入率は予定より低く、既存のADSL程度であり、多チャンネル放送も今少しの加入率だ。決算状況など見ながら、安定した運営に努めていきたい。

小林議員 IP電話は加入者同士間では無料となることを加入者が知ることが必要である。

埴本課長 NTT回線を告知端末に繋いだら、I

P電話の利用者は、半分程度である。今後も、PRに努めたい。

橋本議員 CATV未加入者への告知にどう対応しているのか。また緊急時の情報提供は。

埴本課長 テレドーム設備の整備をし、有料であるが9月1日から運用開始。また、屋外スピーカーによる告知を今年度整備する。

災害時など緊急時には、本庁・支所の職員が現地へ出向き情報収集し、個別に伝える。

佐伯議員 かがやきネットのページング放送(特定範囲放送)の活用が出来ていないのでは。

埴本課長 自治振興会長・班長にバスワードを渡しているが、三和地区以外は活用出来ていないので指導し活用したい。

丸山議員 自治振興会活動経費の繰越額が増加傾向では。

埴本課長 運営費は尊重し、活動費は、自治振興会長協議会で要望が強く地域再生事業に配分している。総額は変更しない。

木野山議員 夢創造委員会提言をどう生かすか。

埴本課長 より具体化し、オンラインワンを目指した予算編成を行う。

木野山議員 道の駅実証実験事業の成果は。

埴本課長 対象集落は「源流の里しんさか」で、対



神石高原町畜産共進会

象商品の評価を基に百彩館祭りやマルシェへ参加することにより、商品化されつつある。

丸山議員

①源流の里維持・再生事業の負担金、補助金の内訳は。②この制度は将来続くのか。坪本課長 ①現在活動5団体の補助金と、全国協議会などの負担金である。今年度は源流の里の定義を拡大し、活動団体に補助を行う。②当面廃止は考えていない。

産業課

木野山議員 「神石牛」ブランド化への対策は。

守多課長 優良な子牛を確保し、生産から販売まで一貫した取組みを行いブランド化に繋げたい。

福祉課

こども医療費助成事業の継続実施を

寄定議員 こども医

療費助成事業は総受診件数5264件、月平均439件、対象児童生徒数651人と大変有効な事業であり、次年度も是非、継続実施すべきでは。世羅課長 子育て世代に有効な事業で継続を望むが、町長任期中の事業である。

木野山議員 保育所の指定管理制度導入は財政的課題解消のためか。

世羅課長 運営経費、維持管理費ともに年々増加傾向にあるが、土・日の保育要求など、住民ニーズに対応するには弾力的運営が必要なので、町の直営では難しい。

佐伯議員 施設に入所できない自宅介護者への支援が少ないのでは。

世羅課長 町単独事業であり厳しいが、今後の介護保険計画の見直しで、在宅医療など進めたい。

横尾議員 生活保護

世帯の具体的な就労支援は。

世羅課長 就労支援策と

してはハローワークや職場へ同行して支援をしている。

松本議員 病院事業

会計は黒字決算され患者も増えているが、外科については診療日も減少している。この要因は。

世羅課長 常勤の外科医がいなかったため、派遣先の都合などで休診せざるを得ない日もあった。

教育委員会

三和小学校建設の手直し工事への対応は

橋本議員 ①三和小学校建設の手直し工事場

所にどう対応したのか。

川上課長 本年5月12日前後の100ミを超える大雨により、法面崩壊や水路・舗装に亀裂が発生



三和小学校プール駐車場の法面崩壊

した。①法面、水路補修は手直し施工を施工業者に指示し処置した。舗装はもう少し状況をみて、施工業者と相談し対応したい。②大雨の影響だと考えている。

橋本議員 災害復旧

工事なら、施工業者の手直し工事とはならないのでは。

川上課長 5月12日の降雨時の応急処置は、施工業者に最小限の費用で対応していたのだ。

寄定議員 統合小学

校プール駐車場の地盤沈下は、設計ミスか施工ミスかそれとも不可抗力なのか。原因を解明し対策をとるべきだ。

川上課長 工期が短く自然転圧不足であったためと考えられる。

豪雨のため法面が崩れた。今後は十分な工期を確保したい。

寄定議員 小・中・

高校教育連携支援事業で油木高校に支援している「通信衛星授業」の目的と

そのシステムは。

佐竹教育長 町内に塾が無いので学力向上のために導入し、大学進学への取組が充実している。

システムはビデオの形となるが、土曜日に教職員によるビデオを使った衛星通信授業に加えて指導もしている。

寄定議員 代々木ゼ

ミナールの教育システムを受けて実施しているがサテライン授業はライブなのかビデオなのか。

佐竹教育長 開校したときはビデオを活用した授業であった。衛星を使っているライブかどうか把握していない。

寄定議員 衛星通信

授業がわかりにくいとの声も聞く。もう少し効果的で学力向上に繋がる方法は無いのか。

費用対効果を考えると講師派遣など直接生徒とのふれ合いの中で授業で

きるよう、きめ細かな対応をすべきでは。

また、クラブ活動や産業ビジネス科に対しても

しっかり支援すべきだ。
佐竹教育長 通信衛星授業の内容についての検討がされている。代々木ゼミナールの一流の指導者が行っているので先生方にも指導面の参考になっている。

横尾議員 少額修理にもかかわらず見積書や写真の添付により修理代が増大している。簡素化し経費を削減すべきでは。

川上課長 事務簡素化が出来るよう事務会議などで徹底していきたい。

寄定議員 教養のまち読書推進事業は、図書館が中心であるが総合的に全町的にどう取り組むのか。

藤井課長 「読み聞かせの会ゆきんこ」による、朝の読書会や保育所に向いて音楽演奏の中で読書会など取り組んでいる。

寄定議員 ブックススタートなど、子どもからの読書習慣定着への取り組みは大変評価できるが、大人の読書推進が大切だ。

家庭での読書習慣が定着するよう、学校と家庭が連携した取組を推進すべきでは。

藤井課長 図書館や公民館の利用、読書感想文の募集など、大人が参加できるように取り組んでいる。より一層連携して取り組みを推進したい。



建築が進む「星の里いせき」

護者の要望を聞き、検討する。

環境衛生課

道路パトロール

業務の見直しを

橋本議員 環境美化推進事業は、各路線のパ

木野山議員 放課後子どもプランは高蓋地区の子どもには実施されず、公平性が保たれていない。藤井課長 高蓋地区の保

トロール及び不法投棄の監視業務であり業者委託している。路線は、県道100km、町道2kmである。①なぜほとんどが県

道なのか。②緊急雇用対策事業ではないのか。

横山課長 ①路線選定の経緯は、把握していない。②そうではない、県の約7割補助を活用し、パトロールなど行っている。

橋本議員 業務日誌

など簡素なものでチェック機能もないようだ。見直しをすべきだ。

横山課長 改善をする。この事業全体を細部にわたり精査し、事業そのものを検討したい。

横尾議員 クリーン

センター神石の委託料の減額内容は。

横山課長 施設管理費を前年より236万円減額で契約。

総合開発事業

「星の里いせき」の

早期販売戦略は

小林議員 監査意見書では「早期に販売完了されるよう販売戦略や販売条件の検討を望む」と

指摘しているが、3年間で50区画販売目標達成のために、拙速な条件緩和による早売りは慎むべきだ。
牧野町長 議論としては同感である。现阶段では考えていない。

小林議員 ①現況での不具合も若干あると聞いているがどうか。②現1区画を、要望により、分割する気があるのか。

坪本課長 ①「町内業者での建築条件付き」「6か月以内の着工」等が大きく変えずに変更できる部分かと思っているが、拙速にやるという事ではない。②現場の話は聞いていないし、全く想定していない。

木野山議員 井関住宅

販売は販売条件を再検討し、早期の販売を目指せ。牧野町長 基本的には早く売りたい。

条件変更は執行者にお任せ頂きたい。

佐伯議員 井関住宅の販売が伸び悩んでいる



雲海に浮かぶ紙ヒコーキタワー

が、原因と対策は。坪本課長 現在26件のめどが立っている。3年以内の建築や別荘に出来ないなどの条件が難しい。販売会議で検討したい。

こんなことが決まりました

人事

人権擁護委員の推薦

全会一致

山口ヒロ子さん

任期：法務大臣が委嘱した日から3年間

来見財産区管理委員の選任同意

全会一致

川上友之さん 池田央さん 川上隆光さん
藤井敬太さん 平田昌弘さん 宮本正道さん
小林征士さん

任期 平成23年10月15日～27年10月14日

資産の取得

12:1

神石高原町立病院に新・精密医療機器導入
デジタル一般X線画像システム機器・カ
セット処理専用タイプ画像読み取り装
置・制御コンソール・間接返還FPD・
配信用画像表示モニター・カンファレン
ス用モニター

取得金額 1134万円

相手方 大阪市淀川区西宮原1丁目3番5号

富士フィルムメディカル(株)

関西・中四国営業本部

条例改正

神石高原町税条例

全会一致

東日本大震災に係る

- ・雑損控除額等の特例
- ・住宅借入金等の特例税額控除の特例

神石高原町営住宅設置及び 管理条例

全会一致

町営住宅等への入居に伴う連帯保証人の町内居
住要件を廃止。

*連帯保証人は町内に限らず町外の人でもよくな
りました。

工事請負契約の締結

12:1

簡易水道中央監視装置整備工事

請負者 広島市中央区西白島町22番58号

遠隔計装(株)広島営業所

請負金額 71,347,500円

工期 平成23年9月23日～24年2月29日



うなぎのつかみ取り大会(大仙会)

訴訟提起

12:1

国道182号線改良に伴う、坂瀬川小学校用地の
土地(3,416㎡)の所有権の移転登記手続きを求
めるもの

原告

神石高原町長 牧野雄光

代理人 建設課長 馬屋原康弘

被告

共有地40人分の内 11人

共有地52人分の内 4人

豪雨災害の復旧と各基金積立に合計5億円

○一般会計

歳入歳出補正予算額 6億9252万円

補正後予算額 108億9039万円

単位：万円(四捨五入)

費目	補正額	補正後予算額	主な内容
議会費	△158	1億147	人件費を減額
総務費	△3130	17億9263	選挙費△1336、かがやきネット管理運営経費3250、ふるさとふれあい事業1002
民生費	△382	16億9214	こども手当給付事業△1035、社会福祉総務経費417
衛生費	210	10億1562	不可燃物集積庫設置助成60、エコタウン等普及150
農水費	3199	9億6462	土地改良区補助△553、農村地域総合推進338、地域営農体制支援634、畜産振興施設整備220、森林整備地域活動支援870
商工費	570	9184	商工観光施設管理費130、自然公園等管理費376
土木費	2102	5億5895	国道整備事業負担金923、単町費町道整備1000
消防費	1769	4億4294	非常備消防一般管理経費1759
教育費	555	5億8353	小学校建設事業80、保健体育施設管理運営経費291
災害復旧費	3億4853	3億7168	農地・農業用施設災害復旧費1億3000、林道施設災害復旧費6229、土木施設災害復旧費1億5624
公債費	8754	22億2020	長期債元金繰上償還経費を計上
諸支出金	1億4650	10億1477	かがやきネット管理運営基金積立△350、財政調整基金1億円、小・中・高校教育支援事業2000、地域再生基金3000
合計	6億9252	108億9039	

9月補正予算

一般会計では6億9252万円増額補正され、総額で108億9039万円となりました。
 一般会計補正予算の主なものは、かがやきネット運営経費に3250万円、災害復旧費に3億4853万円、財政調整基金に1億円、小・中・高校教育支援事業基金に2000万円、地域再生基金に3000万円を積立しました。特別会計を含む全会計の総額は、154億3834万円となりました。

平成22年度特別会計・病院事業会計補正予算

単位：万円(四捨五入)

会計名	補正予算額	補正後予算額	主な内容
国民健康保険	2542	12億878	高額療養費1100
後期高齢者医療	198	3億9452	広域連合納付金198
老人保健	-	-	
介護保険	-	18億6276	介護予防施設△370
簡易水道事業	249	4億9764	施設維持管理費300
飲料水供給施設事業	-	3770	
農業集落排水事業	256	2億4604	消費税納付162
分収育林事業	-	250	
総合開発事業	-	1億2000	
特別会計合計	3245	43億6994	
病院事業会計	-	1億7800	
合計		45億4795	

補正予算の財源は

地方特例交付金219万円を減額補正し、地方交付税3億9732万円、国庫支出金85530万円、県支出金9071万円、繰入金3103万円、繰越金1011万円、町債7750万円を追加補正しています。

補正予算質疑

まちづくり推進課

落雷被害への対応は

寄定議員 告知端末機の落雷被害対策に1049万円計上しているが、落雷被害に対して、今後も同様な対応をするのか。落雷被害防止策はないのか。

持再生事業は、猪肉の解体・販売で地域特産として市場拡大を目指す。

②仙養ヶ原巨大石アートは町のPR効果と芸術。③輝くふるさと時安は、伝統文化継承と活性化。④相渡有機農業塾は都市との交流と農業振興。

埴本課長 落雷が300件、2000台が破損した。予備の50台では対応できないので津和野市と湯梨浜市の在庫1000台と空き施設に設置済みの告知端末で対応した。

広範囲の落雷で予測し難いのが現状だ。電源から入るのでコンセントを抜くなどの対応が有効。

木野山議員

今回報用のファンド事業はどうか。
埴本課長 ①源流の里維

手取りがマイナスになる家庭もあるが影響はどうか。

世羅課長 特定扶養控除の廃止により、実質手取りが逆転することが考えられる。こども手当の支給家庭に影響はある。

村上議員

サロンの事業の自動車購入は必要か。
世羅課長 社会福祉協議会の事業で、全額県費で購入するものである。

産業課

木野山議員 事業検証で効果・成果の判断を。
埴本課長 民都機構への実績報告など、しっかりと事業検証を行う。

福祉課

こども手当への

減額影響は

寄定議員 こども手当が1034万円減額となっているが、こども手当は廃止、実質児童手当の拡充となった。特定扶養控除廃止によって実質

ファームへ1名雇用、23年度の雇用期間は10月から3月までであるが資格取得は24年度なので12カ月支援する。

学校教育課

神石小学校

建設設計は

橋本議員 神石小学校建替え設計委託料は、教育委員会の方針決定以前の予算要求では、
教育長 短期間で建設するため、教育委員の意見は一致している。

設計を依頼する町内業者8社の選定基準は。町外業者8社とのジョイントか。

教育課長 町内業者はB・Cランクだ。町外業者は鉄骨建設のノウハウのある業者を指定する。

神石小学校は最短での建設を目指すので企画・提案・設計・施工管理まで1業者に依頼する。

病院事業特会

精密医療機器の取得

寄定議員 ①今回取得のデジタルX線画像システムは、業者選定方法は。②入札率は。

世羅課長 ①富士フィルムメディカル(株)とコニカミノルタ(株)の2社による競争入札で富士フィルムメディカル(株)が落札した。定価の25.1%の1134万円で落札納入。

②入札率は87.2%。

寄定議員

このシステムは町立病院と他の病院とを繋ぐことが出来るのか。十分活用し、医療の向上と患者の負担軽減に努めるべきだ。

世羅課長 町立病院内の医療ネットワークシステムである。他の医療機関とのネットワークは今後の課題である。

片山議員

デジタルX線画像機器の購入は、病院からの要請か。また、陽正会の持ち分は。

世羅課長 医療機器は、病院が町に移管となって以来、年、2000万円を目安に計画的に購入している。持ち分は、全部町のものである。



どんぐり幼稚園運動会

あなたの声を町政に

一般質問時間は、一人30分
一問一答方式で行いました

報は無いが、出没时间には
迅速な対応を行う。

問 クマ対策はどうする

小川清治議員



答 町民が安心できるよう 被害防止に取り組む

Q 5月以降クマの目撃情報が頻繁に寄せられ広報などで注意が促されている。

A 幸いに人的被害は発生していないものの、いつ発生してもおかしくはない状況である。

町長

5月9日に時安のゴルフ場で足跡が発見され、以降7月には下豊松、井関、入谷、上豊松で目撃

され、8月には6、7、8日と連日上豊松で親子のクマが出没した。

町長

農作物の被害状況と生息情報は、スイカ10個が被害に合う1件である。

庄原市と高梁市では生息が確認されている。クマの行動範囲は一日約50kmと大変広い。

町長 上豊松においては猪用の捕獲柵5基、クマ用の捕獲柵1基を設置しドッグフードにハチミツをかけた餌でワナを仕掛けたが捕獲できなかった。

町長 豊松小学校では、専門講師によるクマ対策の学習会を開催し、被害発生防止に努めている。

町民が安心して生活できるよう、被害発生防止の諸施策を迅速に

講じられる事を願う。
産業課長
8月8日以降目撃情報



マツタケ豊作

問 里山保全への考えは

寄定秀幸議員



答 大変重要だ、 多面的に対応したい

Q 有史以来連続と引き継がれてきた里山保全への基本的な考えは。

町長 里山保全は大変重要だ。ひろしまの森づくり事業など、多面的な対応をしたい。

町長 赤松林の再生をすべからず。

生物多様性の保護の観点からも赤松林を大切にしていきたい。

Q 里山資源を活用したバイオマススタウン構想のバイオマスボイラーや小水力発電への取組は。

町長 太陽光、バイオマス、小水力発電など、地域資源を活かした新エネルギーの導入を目指している。

バイオマスはコストを考えると困難性があるが大きな視野で見ると、雇用と森林木材の再生に繋がる可能性が大いにある。

Q 大矢の産業廃棄物処理施設に対し、臭気指数規制の厳正な対応で住民の健康と本町の自然環境を守るべきだ。

町長 臭気などが改善されない場合は、一歩踏み込んだ改善勧告をする。

Q 来年度開催予定の帝釈峡遺跡群発掘調査50周年記念シンポジウムの構想と計画は。

町長 帝釈峡遺跡群50周年の調査・成果や「帝釈峡遺跡群からみた石器時代」についての講演や人類学、動物考古学から見た大学教授の講演とパネルディスカッションを計画。

町長 帝釈峡遺跡群50年の調査・成果や「帝釈峡遺跡群からみた石器時代」についての講演や人類学、動物考古学から見た大学教授の講演とパネルディスカッションを計画。

町長 開催場所は「総合交流センター 神石の里」、開催時期は来年の11月を予定。

町内AEDマップを作成し配備場所の周知と救命講習の推進を。

町長 救命講習は実施すべきであり、AEDマップも検討したい。

町長 要援護者へ救急医療情報キット配備を。

副町長 プライバシー保護の観点から管理に配慮し、配備推進を検討したい。

IIそのほかの質問II

*帝釈峡観光振興
*地域医療体制整備
*水へりポートの整備推進

問 神石小学校の
建て替えは

佐伯卓師議員



答 来年度中に新築する

Q 学校配置検討委員会より再配置見直しの答申が出た。教育委員会としての再配置方針と、耐震調査で補強不可となった神石小学校の対策と今後のスケジュールは。

A 教育長
答申を尊重し中学校については2校として、26年度の統合に向け、基本を策定し、住民周知を行い理解を求める。

小学校については当面5校を存続する。複式学級もやむを得ない。

Q 近年、出生数が大きく減少している。統合しても中学校2校の存続は厳しいのでは。

A 教育長
統合から15年程度は、生徒平均20人を確保



神石小学校

Q 近年、全国的に地震や集中豪雨による大災害が多く発生している。防災意識の啓発と共に防災訓練も実施すべきではないか。

A 町長
町の防災訓練は難しいが、自治振興会に防災組織を作り、防災リーダーを育成し、県と連携し防災の図上訓練を計画している。

自主防災組織から相談があれば、連携を図り対応したい。

問 神石小学校新築は

丸山達夫議員



答 教育委員と同一意志である

Q 神石小学校校舎新築は、学校配置検討委員会の、早期建設との答申を受け、24年度と聞く。統合校舎建設など、教育委員会と同一見解を願うが。

A 町長
当面、小学校5校中学校2校を提示し、教育委員会で教育効果を検討し、神石小学校建設の意志は同一である。

Q ひろしま森づくり県民税を県産材利用の住宅建設補助金は、当初

目的の森を守ることと違うが、その見解は。

A 町長
森づくり審議会の決定で、今は軸足を生産者より消費者に置く時代で、審議会の中も消費者側多数、また生産しても消費がなければの考えで、やむを得ないと思う。

Q 受託補助金が申請多数の時は抽選となり、不公平では。

A 町長
本町の補助金制度も同じで、予算が超過すれば仕方ないと思う。

Q 23年度終了の事業であるが、町として継続要望は。

A 町長
単県事業、それに県民税であり、森づくり審議会の継続・廃止に県は従うことで、町との連動はなく、要望は参考にしても、審議会判断は優先である。この事業は、多面的機能もあり、継続すると思う。



塚ヶ峠の雲海

問 木質系バイオマスの実施時期は

村上克朗議員



答 足踏み状態である

Q 地域資源を生かし地域活性化につながる工コな町づくりを目指した新エネルギー導入計画を策定。

A 21年度にスコラ高原「帝釈の湯」で現状の重油ボイラとチップボイラとペレットボイラの比較、22年度に検討会を設置し具体化に向け詳細検討、23年度には「帝釈の湯」へチップボイラを導入し燃料チップの調達先を選定、町民参加型の林地残材収集や運搬システムの

Q 事業実施における課題と対策は初期投資及びチップ燃料価格の低減であるがその方法は。

A 町長 地域の産業として捉

Q 検討を行うと報告書にあるが、その実施時期は。

A 町長 21・22年と検討してきた、その結果バイオマス燃料使用は初期投資額が高く、国の補助事業が無いので足踏み状態で23年度は予算計上していません。

Q バイオマス燃料は事業採算性が確保できる価格と安定的な供給が重要では。

A 町長 産業としては、コストを考えると難しいが森林業は地域の財産である。

Q クリーンセンター神石施設管理経費8千6百万円の内、RDF処理委託費に800万円を支払っている。

A 町長 庄原市が補助事業でバイオマス燃料を製造していたが民間企業が倒産したので、市が補助事業費の返還を行い苦慮して



油木小学校運動会

問 地域活動は公共放送で周知を

木野山孝志議員



答 庁内委員会を設置し基準を検討する

Q まちおこし目的の事業の周知は公共放送で行うべきでは。

A 町長 政治活動、宗教活動、営利活動の公共放送基準を設ける。

A まちづくり推進課長 副町長、担当課長、関係課長などで庁内委員会を設立し検討する。

Q 地域活動は営利目的ではない。規制は避けるべきだ。

A 副町長 庁内委員会で整理す

Q 「知つくネット」は大いに利用して欲しい。

A 町長 イノシシ被害の復旧対策が必要では。

Q その制度は今のところ無いが、補助するとう事で考えてみたい。

A 町長 平成22年度実施の全国学力・学習状況調査により把握された本町児童の課題・対策と、それに向けての取り組みは。

Q 「自己肯定感、将来の夢目標を持つているか」にも課題がある。将来に夢を持ち意欲のある子どもに育つようお願いします。

A 教育長 道徳教育推進協議会

Q 知識はついているがその知識を活用する力に課題がある。テーマを決め全校の教員が一所に集まり研修している。学力量の成果は上がっている。

Q 本年度は東日本大震災のため全国学力学習状況調査は見送られたが、国から配布された問題冊子によって全校で実施し、今後へ繋ぎたい。



ピラミッド完成 (三和小学校運動会)

問 住民の願いが
実現できるか

瀬尾征爾議員



答 期待に応えたい

A 町長 「挨拶」「笑顔」「親切」は人間だけが持っている能力で、私が行政スタイルとしている「迅速」「確実」「誠実」のうち「誠実」に入る。幹部会などで頻

Q 住民の行政に対する要望の中で①カウンターに行けば即座に「声掛け」が無く「ジロツ」と見られていやな気分になる。職員の対応に、基本である「挨拶」「笑顔」「親切」が欠けている。どう指導しているのか。

A 町長 商品市場は売り方であるから当然である。まず、役場の職員が、えりをただし波及効果を上げていく。

Q 繁に指導しているが徹底していないようなのでさらに徹底する。
Q 商品市場も入ったときの「いらっしやい」が無くレジの支払の時の「ありがとうございしました」のみだ。まず、「いらっしやい」から始まるのではないか。

Q 粗大ゴミの処理が遠くて場所も解らず、多くの高齢者が困っている。
自治振興会事業に組み込み、呼び水として助成金を出す制度の導入は。

Q 職員の名札が住民目線ではなく、さっぱりわからないと聞く。胸に着用する方がよりましではないか。
A 町長 賛否両論あるが見えにくいのは確かであり、検討してみたい。

策定は。

Q 本町における財政健全化の柱は、町長の「三つの過剰対策」の基本理念と平成17年度策定の「行政大綱」「集中改革プラン」「定員適正化計画」であり、本町のバイブル的計画であるが、大綱とプランは期限切れとなっている。成果と新計画の策定は。

A 町長 効果額は5年間で32億円余りで、その主なものは集中と選択による投資的経費である。人件費や物件費、補助金などの合理化で約20億円抑制できた。
第二次計画は23～27年度の5年間で、今年度策定する。

問 星の里井関の
販売条件緩和は

藤田晃己議員



答 大幅な見直しはしない

Q 星の里いせきの販売状況と今後の販売促進対策は。
A 町長 9月20日現在契約件数は27、予約済み2件、販売状況を月に一回程度分析しているが「購入後3年以内の建築条件は厳しい。」「町内業者で建築する条件の区画で6カ月以内建築は難しい。」「別荘目的での販売はないか」との声もある。
平成22年から24年（3年間）の販売条件の大幅

Q 「6カ月以内建築」の変更は軽微な変更ではないか。
な変更は原則的に考えていないが、今後来客者の意向や購入者の傾向を把握し、販売促進のため、建築条件エリアの解除、期間の緩和などを含めて大幅な見直しは25年以降の実施としたい。
大幅な見直しは今ままで契約した人との差が出るのでケースバイケースで行きたいので執行者に一任してほしい。

Q ケーブルテレビ設備後の情報伝達の方向性は。
A 町長 告知端末を使ったお知らせと広報とは内容が

Q 個別には申し上げれないがお任せ願いたい。
Q 低価格帯にするために区画の分割などを考えてみては。

A 町長 今まで契約した人に関係ない部分は考えても良い。

Q 考えてみては。

だが異なっている。
当面は広報を廃止するつもりはないが、インターネットで見れるので普及してくれば必然的に淘汰されるときが来るかもわからない。



いもっこ村の大根畑

問 町立病院の現況把握と将来展望をどう考えるか

片山元八郎議員



答 一次医療・療養併用型が望ましい

Q 「おらが病院」として発足以来、3年目となるが現況把握は。

A 町長 平成21年度の入院患者数は、2万8318人で、病床稼働率は82パーセント、平成22年度の入院患者数は、3万910人で、病床稼働率89パーセント。利益が出ている。

Q 当直医一人では、緊急往診時（死亡診断書交付など）に対応できないのでは。

Q 契約終了後の見通しは。

A 町長 これまでも医師増員を機会あるごとに求めてきた。人間の尊厳に関わる問題なので、あえて交渉したい。

Q コンビニ受診の実態があるか。

A 福祉課長 ほとんどない。福山市市民病院では、コンビニ受診を防ぐため、紹介状なしの初診は1575円加算される。

Q 二次医療までも望む住民に対し、医師確保（外科、整形外科）が

A 町長 一次医療と療養型をセットにした病院形態とならざるを得ない。

Q 総合病院でなく、第一次医療を目指すべきでは。

A 町長 ①これまで通り陽正会にお願いする。（ベター）
②指定管理者の変更。
③町の直営。



新しいCTスキャン機器

Q 困難なことの周知をすべきでは。

A 町長 町広報などを通じ、町民の理解を求める。

問 新政権下の本町行財政運営は

小林 貢議員



答 財政健全化を第一に

Q 本町22年度決算について「100年に1度あるかないかのでき過ぎた決算」と町長自ら評価され、町民に自信と元気を与えられたと思う。

A 町長 それは国の各種景気対策臨時交付金等々を最大限有効活用され、大フロジエクトが成し遂げられた成果からである。

Q 国では、松下政経塾一期生で、戦後3番目に若い54歳の総理95代野田内閣が誕生したが、政局迷走に歯止めがかかるのか

A 町長 本町は、復興・原発収束・台風災害に全力集中を余儀なくされ、22年度決算で、14%の僅少自主財源しか持たない本町にとつて、大ピンチであり、今後こそが、正念場ではないか。野田政権を見据えた本町の行財政運営の心構えは。

Q 等々の期待もあるが憂慮する点も多い。

A 町長 もともと日本は国債発行残高がGDPの2倍で1千兆円に迫り、世界

でワーストワンで大変な時代になった。加えて東日本の大震災・台風災害などで、更に復旧・復興財源が必要で、交付金等々が、西日本には薄くなるのが予想される。

A 町長 我町は今後も、財政健全化を第一に、財政規律をきっちり守りながら、定員適正化計画、公債費負担比率等の更なる計画をもつての取り組みが必要と思っている。



仙養ヶ原石彫プロジェクト

問 中学校の統合は

横尾正文議員



答 2校体制の答申

Q 油木・神石・豊松各中学校のクラブ活動の現状は。
A 油木中学校野球部は、豊松中学校と合同チームの15名で活動しているが、来年度においては、3年生11名が卒業するので活動も困難になる可能性がある。

Q 学校配置検討委員会の答申の結果について。
A また他のクラブ状況も同じで今後クラブ活動の充実を図れない。

Q 教育長
学校配置検討委員会は、中学校2校体制を答申され、教育委員会ではこのことを尊重していくことを確認している。

Q 教育長
答申には統合時期も明記されているので方針や基本計画をまとめ統合に向けた取り組みをしたい。

Q 教育長
地域の人や保護者から反対者が出てきた場合の対応は。

Q 教育長
地域や保護者の代表

Q 神石小学校の建て替えは。
A 神石小学校の建て替えは、保護者からの要望もあり、最短での建て替えを考えている。

Q 教育長
地元材を利用しているが、鉄骨建築にした理由は。

Q 教育長
保護者は工法よりも、早期の建て替えによる安全性をのぞまれている。そこで、工期の短い方法を選択した。

Q 教育長
まだ場所の選定はしていないが有望な選択肢の一つである。

Q シルトピア地区には体育館やグラウンドがある。これを利用して此処に統合中学校を建設してはどうか。



油木小学校運動会

問 無医地区などの対策は

松本彰夫議員



答 交通の確保を検討

Q 県が移動検診車による巡回診療を取り組む。内容を見ると、医師・看護師などのスタッフは、町立病院が準備し、対象地区も無医地区に限定され、あまり期待できない。
A 町としては、現在月2回行っている油屋地区への巡回診療に1回使おうかと答弁されている。県や関係市町との協議はいつ頃行われるのか。

Q 町長
具体的には県との協議も残っている。この事業は本町から要望したものでない。

Q 本町では、通院が困難な人が沢山おられる。具体的な対策は。
A 副町長
通院が困難な人の実情を調査し、交通対策協議会で協議する。

Q 町立病院でも看護師などが不足している。その対策として現場から遠ざかっている看護師の人に復職してもらえないか。
A 町長
町立病院において、広島県看護協会が実施している「看護職員復職支援研修事業」の協力病院となり看護職員の復職支援に取り組んでいる。

Q 医療従事者を育成するため奨学金制度を創設してはどうか。
A 町長
町独自では負担も大きいので、「広島県地域保険医療推進機構」に自

Q 対策を取り組んでどうか。
A 町長
町立病院において、広島県看護協会が実施している「看護職員復職支援研修事業」の協力病院となり看護職員の復職支援に取り組んでいる。

Q 医療従事者を育成するため奨学金制度を創設してはどうか。
A 町長
町独自では負担も大きいので、「広島県地域保険医療推進機構」に自

Q 治療従事者を育成するため奨学金制度を創設してはどうか。
A 町長
町独自では負担も大きいので、「広島県地域保険医療推進機構」に自

治医科大学・
広島大学ふる
さと卒業業
師を派遣して
もらうため、
200万円負
担している。



ふれあいバスで通院（町立病院）

議 員 発 議

国に意見書を提出しました

全会一致

原子力発電所における「国の防災指針」の見直しを求める意見書

提出者〓 寄定秀幸 賛成者〓 小川清治

今般の福島第一原発事故の一刻も早い収束と徹底的な原因解明を行うと共に、国内全ての原発の立地地域及び周辺地域の住民の安全・安心を確保するため「防災指針」を早急に見直し次の事項について対策を講じるよう強く要望する。

1. 原子力安全規則は、少なくとも従来想定をはるかに超えた地震・津波にも対応し得る基準に強化すること。
2. 原子力防災指針の示されたEPR（防災対策を重点的に充実すべき地域）を改正し、地域防災計画が有効に機能し、各圏域にとらわれない広域災害に対応可能な防災体制を確立すること。
3. 原子炉設置（変更）の条件を見直し、自治体の同意を要する範囲を拡大すること。

全会一致

地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者〓 松本彰夫 賛成者〓 村上克朗

平成24年度予算においても、震災対策費を確保しつつ、平成23年度と同規模の地方財政計画・地方交付税が求められる。

平成24年度の地方財政予算全体の安定確保に向けて政府に次の対策を求める。

1. 被災自治体の復興費は国の責任で確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を講じること。
2. 医療・福祉分野の人材確保などセーフティネット対策、農林水産業の再興、環境対策など取り入れ、平成24年度地方財政計画・地方交付税総額を確保すること。
3. 国と地方の税収配分を5対5を実現する税源移譲と格差是正のための地方交付税確保、地方消費税の充実、国の直轄事業費負担の見直しなどの抜本的対策を進めること。

問 公共交通の見直しを図るべきでは



橋本輝久議員

答 民意を取り入れ検討する

Q 高齢化が進む中で、利用者の要望、意見を取り入れ、もっと利用しやすく、安心できる交通システムに見直しを図るべきでは。

A 町長 21年度から試行運転し、22年度から本格運行を開始したばかりだ。乗車人数増で次第に定着してきている。当面はこの運行システムを継続していきたいが、住民の意見を取り入れ財政状況など勘案し検討したい。

Q 「常設診療機関の豊松地域への設置」の要望に対しての結論は。

A 町長 常設の診療所は、現状では無理である。無医地区への対応は、訪問診療、訪問看護にシフトしたいが、町立病院では医師、看護師などギリギリのスタッフなので当面むずかしい。交通の確保を早急に検討したい。

Q 独居老人の方々が、安心して暮らせるよ

ういつでも相談でき、対応できる「安心ホットライン」の設置を提案する。

A 町長 住民の不安は大変なものがあると承知している。住民の不安解消にもひとつの提案として前向きに検討してみたい。

Q 今までに想像できない災害が発生している。本町においても短時間で集中するゲリラ豪雨が頻発し、土砂崩壊により家屋被害が発生している。危険箇所の再調査

や災害対応の体制を精査し、防災計画を早急に見直すべきでは。

A 町長 防災計画により警報発令時、震度4以上の地震発生時は支所を含め各課の職員を召集し、情報収集にあたらせ初動体制を取っている。ゲリラ豪雨など予想される場合、関係課の職員を一時待機させ、情報収集にあたらせる。早めに情報収集し、避難勧告などの発令をした

い。また、10月から携帯電話のメールで緊急速報システムの導入をする。このシステムは、避難勧告や避難指示、各種警戒警報など、生命にかかわる緊急重要情報の提供で町内に一斉に送信するものである。

〓その他の質問〓
*町営住宅について

まちの事業を総点検

議会常任委員会

報告

総務文教 常任委員会

調査目的

平成22年度の主要事業成果と平成23年度主要事業の進捗状況調査

調査日時

平成23年6月27・28日

第1日目 事務調査

総務課、まちづくり推進課、福祉課、保健課、学校教育課、生涯学習課の財政状況と事業計画の妥当性、事業状況を聴取

第2日目 現地調査

○神石中学校

校舎は昭和45年建築
1S値0.31 優先度2
屋内運動場は昭和46年建築、1S値0.42 優先度4

○神石小学校

校舎は昭和41年建築
1S値0.37 優先度1
耐震補強不可能なので
早急な対策が必要。

○神石支所機能

町民課と出納分室とシル
バー人材センターが同居

○高蓋診療所

午後2時から医師1名

看護師2名、事務員1名
で月2回の診療

○井関定住団地

契約済み17区画、予約済
み4区画、建設中4棟

○豊松支所

非効率的空調、公民館の
活用、地域おこし協力隊・
自治振興会・集落支援員
等々との連携が必要。

○油屋診療所

油屋集会所を使用、診療
に必要な施設と設備が必
要 22年度診療患者数は
182人(一日当たり7
3人)

○油木支所

非効率的空調、社会福祉
協議会・公民館・集落指
導員が同居

○放課後こども事業

三和小学校地域の三和教
室を視察、運営はシルバ
ー人材センターに委託

○「豊松地域への常設 診療機関の設置」を 求める陳情を検討

常設診療所の誘致は困
難であり町立病院へのよ
り良い通院体制を検討。
医師が定住診療の場合
は行政として協力する。

○保健福祉センター

地域活性化・きめ細かな

交付金事業で事務室の改
修・渡り廊下・大会議室
を新設



中国開発 養豚場

産業建設 常任委員会

調査目的

平成22年度の主要事業成
果と平成23年度主要事業
の進捗状況調査

調査日時

平成23年7月7日

調査内容・場所

○循環型社会に即した
企業参入(中国開発
養豚場)

循環型社会の流れに対応
し、新規雇用も行われて
新しい形の企業参入とし
て注目すべきである。町
有ネットワークの活用

地産地消の推進といった
視点で連携を強化すべき
である。

○和牛の里

施設整備、飼育など着々
と事業が進展し各施設は
有効に活用されている。

今後の課題

施設運営
の全体的ビジョンを明確
にすべきだ。関係団体と
の連携強化と行政の指導
力発揮の施策展開が必
要。

後継者育成への体制整
備の検討を望む。

○星の里いせき定住団地

環境整備も完了し、販売
促進の施策が展開され順
調な販売契約状況だ。

今後の課題

販売戦略
の見直しなどによる販売
促進と、定住者がなじめ
るための施策展開が必
要。

○農業公社

自立運営のための運営
方針の再検討を望む。
「トマト工房」は加工
品販売拡大のため、町有
ネットワークなどの活用
で商品PRを積極的に実
施するよう望む。

○産直市場

さんわ182ステー

ション、油木百彩館、神
石高原まるごと市場の各
産直施設はそれぞれ工夫
され良好な経営である。

しかし、従業員の接客
態度に疑問を感じる店舗
や設置目的に沿った運営
とは言い難い施設があっ
たのは残念だ。

今後の課題

駐車場の
拡張など利用者の利便性
向上の必要性。生産者の
高齢化による商品の固定
化や出荷数量が減少傾
向。

品質管理が不十分な店
舗があった。生産組織の
育成や栽培指導の強化、
集荷体制整備が必要。

さんわ182ステー
ションでは、ローソンな
ど併設施設の活用で相乗
効果が期待される。
産直3施設の同一視点
での経営分析が必要。

○災害復旧事業の 進捗状況

平成22年7月発生の
「忠原地区地滑り災害」
の復旧工事は順調である
が被災者の将来展望がも
てる施策展開を望む。

“進化する” さんわ182ステーション!



連日賑わう「高原の風」の店内風景

「高原の風」オープン!

9月17日(土)、さんわ182ステーションにお
ばちゃん食堂「高原の風」がオープンしました。
地元産にこだわった新鮮な食材を使用したおふ
くろの味に、連日多くのお客さんが訪れ、行列
が出来るほどのにぎわいです。

- 【お食事料金】(ビュッフェスタイル)
- *大人 980円・1200円(フリードリンク)
- *小学生以下 600円・800円(フリードリンク)
- *3歳以上〜小学生未満 300円
- 500円(フリードリンク)

ローソン 神石高原町店 オープン!

高原のさわやかな風そよぐ8月12日、さんわ182ステーションにコンビニ、「ローソン」神石高原町店がオープンしました。ローソンの新浪社長は「町とともに地域・商店・などと連携する新しいモデルである。」「地域コミュニケーション」と町の繁栄、共存・共栄を目指す。「神石高原町でのローソンは全国に影響を与える。」と語りました。

◇

【町の活性化に繋が
るよう共存・共栄
を強く望みます。】

大健闘! 油木方面隊 優良賞受賞 広島県消防ポンプ車操法大会



大健闘した、団結第一の選手・指導員

県内消防団15チームで消防ポンプ車操法の技術を競いました。規律・早さともに他消防団にひけをとらない立派な操法でした。惜しくも、優勝は逃しましたが優良賞を受賞することが出来ました。

この度の大会出場にあたり、消防後援会をはじめ多方面から、多大なご支援を頂き深く感謝申し上げます。

われわれ消防団は、住民の安心、安全のため消防防災活動に一層精進してまいります。

今後とも、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

油木方面隊長 小田信義

クイズの解答とともに寄せられた “まちの声”

町立病院を守る会の皆様には、花を植えたり植え込みの手入れをしていただいているのになっていきます。ありがたいと思っています。

(62歳・男性)

日本中がなでしこジャパンで明るくぱっと元気が出ました。東日本大震災以来の心がふるえる感動を頂きました。これを機に、私たちの町にも未来を見据えたまちづくりを御願いたしたいものだと考えます。

(55歳・女性)

路線の障害木や風倒木、また路面の穴などを速やかに除去・修理して欲しい。委託業者も含めてこまめに廻って欲しい。

(58歳・女性)

給与を減額してまで皆様頑張っておられます。住民も出来るだけ頑張ります。

(67歳・女性)

各課の行事予定、進行状況や議会の内容などもつぶさに掲載されています。少しずつでも読ませていただいております。楽しみです。

(74歳・女性)

議員一人一人のあらゆる分野においての活躍に感銘しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(72歳・女性)

油木高校がナマズの養殖に取り組まれたのはいい事だと思います。神石高原町の名物になればいいですね。

(87歳・女性)

ケーブルテレビで議会中継や各地区のイベントを楽しく視聴しています。

(71歳・女性)

議会便りは毎回楽しみに目を通しています。

(73歳・女性)

みんなの町議会を読んで、議会・町の様子がよくわかり、ありがとございます。暑さ厳しき折り、議会の皆様くれぐれも御身に自愛くださいませ。

(71歳・男性)



神石高原マルシエ



魚のつかみどり (有木自治振興会)

第10回 議会クイズ 正解・当選者

- ① 民
- ② 否決
- ③ ナマズ
- ④ 12
- ⑤ リサイクル

ご応募ありがとうございました。正解者多数により抽選の結果、次の方々当選され、1000円分のやまなみ商品券をお贈りしました。

第10回クイズ当選者

神石地区 横山 寿恵さん 神石地区 福名 澄江さん
 三和地区 馬屋原美恵子さん 油木地区 前原美代子さん
 神石地区 安原ハスエさん (順不同)

元気なグループ紹介

有木自治振興会
宮尾グループ



元気で
楽しくやっています。

私達の集落は、6戸で20人足らずの小さい集落です。また岡山県との境に位置し、となりは高梁市です。

地区の行事など、協力的で、老若男女が助け合い、時には意見の言い合いも活発におこなない、和気あいあいと暮らしています。

5年前に、小さい集落でも何か一日が楽しく過ごせることは無いかとみんなでお話し、都市住民の方と農業体験をとおした交流を始めました。田植え、稲刈りと年2回の交流ですが、今では地元産のお米など購入していただけるようになりました。

毎年、稲刈り体験後は、新米のおむすびで親睦をはかっています。

今後は、都市住民の方との懇親をもっと深め、共に楽しくやって行きたいと思っています。



第11回 議会クイズ

《クイズ》

空欄に適切な言葉を入れてください。

- ①全会計を〇〇で繰越
- ②9月補正予算
- ③豪雨災害の復旧と各基金積立に〇〇円
- ④一般質問
- ⑤小学校の建て替えは
- ④特集記事
- ⑤グループ紹介

《ヒント》

議会広報を良く読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。

議会への要望・ご意見なども書いてください。

「まちの声」で、出来るだけ紹介いたします。

正解者多数の場合は抽選で5名の方に10000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

応募はお1人・1通に限定させていただきます。

《あて先》

〒720-11522 神石高原町小島二〇二五

神石高原町議会事務局

「第11回議会クイズ係宛」

《締め切り》

11月18日(金) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

編集後記

野田総理は東日本震災の復旧・復興財源確保のため、早々と増税路線にカジを切りました。

増税の前には、まず自らの身を削り、徹底的に無駄を省くべきです。

また、政治とカネの問題や閣僚の不一致発言など、国民の政治不信は増大する一方です。

相変わらず迷走し続ける民主党政権に翻弄されるながらも地方自治体は、常に住民に寄り添い、懸命に取り組んでいます。

真に「人と自然が輝く」まちを築くために、「議会改革」を推進し住民の負託に応えるべきです。

「みんなの町議会」を通して議会改革推進に取り組みたいと思います。

ご愛読よろしくお願致します。

(寄)

議会広報広聴調査特別委員会

委員長 寄定 秀幸

副委員長 小川 清治

木野山 孝志

橋本 輝久

横尾 正文

住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-8913340
FAX 0847-8514201